

よね やま 米山古道 散策ガイド



ブナが芽吹いた米山、ヒトリシズカ、カタクリ

米山と密蔵院を結ぶふれあいパークの会



密蔵院、米山古道へのアクセス
JR 柿崎駅より、7 Km
北陸自動車道 柿崎 I.C より6.5 Km

米山と密蔵院と米山古道

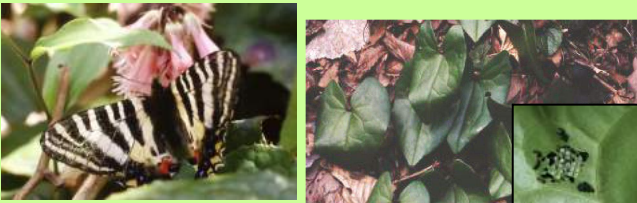
米山（993m）山頂には、米山薬師が祀られている。泰澄大師によって、1300年前に、開基された。以来、主に新潟県中越、下越地区の人々から強い信仰が寄せられてきた。集落単位で、米山講が結成され、毎年代表者が、護符と薬草のトウキ（米山でよく採れる、臭いの強いセリ科植物）を貰いにお参りをしてきた。密蔵院は、米山薬師の別当で、江戸時代ころから、当地で米山薬師を守り続けてきた。米山への登山道は、古くは、米山寺より、水野集落を経ての道があった。密蔵院ができてからは、その護摩堂裏から尾根つたいに、下牧集落を経て登る道がメインになった。下牧集落までの尾根道を米山古道を呼んでいる。

米山古道の花ごよみ		樹木の花								
名 前	／ 月	3	4	5	6	7	8	9	10	
①マルバマンサク		●	●							
②ユキツバキ		●	●							
③オオカメノキ			●	●						
④オオカメノキ			●	●						
⑤タムシバ			●	●						
⑥オオバクロモジ			●	●						
⑦アカシデ			●	●						
⑧ウワミスザクラ			●	●						
⑨オオカメノキ			●	●						
⑩タニウツギ			●	●						
⑪レンゲツツジ			●	●						
⑫ヤマツツジ			●	●						
⑬ナツツバキ					●	●				実
⑭ナツハゼ					●	●				実
⑮マタタビ					●	●				実
⑯ヤマボウシ					●	●				実
⑰ムラサキシキブ					●	●				実
⑱リョウブ					●	●				実
⑲クサギ					●	●				実
⑳ホシツツジ					●	●				実

※●印の色は花の色を表わす。番号は場所、写真（裏）を示す。

春 芽吹き

雪が残る3月からマルバマンサクが咲き始める。雪消えと同時に、オーレン、カタクリが花開き、ギフチョウが舞う。フキノトウ、ゼンマイ、ワラビ、タラノメ、コシアブラ、コゴミ・・・、山菜が一斉に現れる。古道に眠っていた命がふきかえる。



ギフチョウ コシノカンアオイ 卵と幼虫

スプリング・エフェメラル（春のはかない命）
越冬したギフチョウは、カタクリ、スミレなどの蜜を吸いながら、幼虫の食物となるコシノカンアオイの葉の裏に産卵する。産卵で成虫の命は終わる。カタクリは、雪消え直後に、葉を広げ、花を咲かせ、実を付け、5月の終わりには、地上部は枯れ、翌春まで休眠する。ギフチョウとカタクリ、春の一時期にしか、見るができない、春のはかない命。

冬 雪の中で

12月になると、落葉樹は、葉を落とし、古道を歩いていても、林の中を遠くまで見通すことができる。葉を落とした枝を見ると、春を待つ芽がついている。固そうな茶色の鱗のような葉（芽鱗）で覆われた冬芽（鱗芽）。芽鱗は無く、細かな毛が生えた小さな葉がついている冬芽（裸芽）。植物の種類ごとに色々な寒さ対策をしている。また、葉が落ちた痕（葉痕）も面白い。葉に通じていた道管、師管の痕が、目や口のように見え、サルの顔のよう。

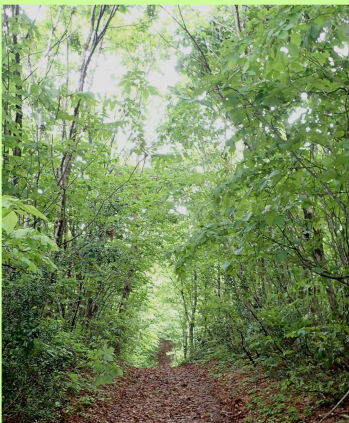


裸芽：オオカメノキ 芽鱗：コナラ 葉痕：ヤマウルシ

古道には、2～3mの雪が積もる。ユキツバキ、ハイヌツゲ、ヒメアオキなどの低木は、その雪に押されて、地面に伏す。いずれの木も、柔軟性があり、雪の重みで折れることは無い。雪の少ない所に生育するヤブツバキには、そのような柔軟性は見られない。ユキツバキなど、多雪地帯に適応した植物を日本海型植物と呼ぶ。雪に光は閉ざされるが、雪の保温と保湿効果で春を待つ。

夏 新緑

コナラ、ホオノキ、ナツツバキなどの高木が、若葉を繁らせる。古道は、新緑の木々のトンネルとなる。



新緑のトンネル

植物の階層構造

10mを越す、大きな樹木が若葉を茂らせると、樹林の下は暗くなる。照度計で計ると、樹冠と林床では、光の強さは、100：1となる。強い光のもとで速く高く生長する陽生植物のコナラ、アカマツ。その下で、弱い光のもとでも生き抜く陰生植物のユキツバキ、エゾユズリハ。高木と低木で階層構造を作り、植物は光を無駄なく利用している。

米山古道の花ごよみ		草本の花								
名 前	／ 月	3	4	5	6	7	8	9	10	
①オウレン		●	●							
②カタクリ		●	●							
③キクザキイチゲ		●	●							
④オオカメノキ			●	●						
⑤シュンラン			●	●						
⑥チゴユリ			●	●						
⑦コシノコバイモ			●	●						
⑧オオイワカガミ			●	●						
⑨ヒトリシズカ			●	●						
⑩サイハイラン			●	●						
⑪オカトラノオ					●	●				
⑫ヤマユリ					●	●				
⑬オトコエシ					●	●				
⑭ツリフネソウ					●	●				
⑮キツリフネ					●	●				
⑯ツルリンドウ					●	●				
⑰クルマバハグマ					●	●				
⑱キッコウハグマ					●	●				
⑳センブリ					●	●				

※●印の色は花の色を表わす。番号は場所、写真（裏）を示す。

このパンフレットは、上陸市地域支援事業の援助で作られました

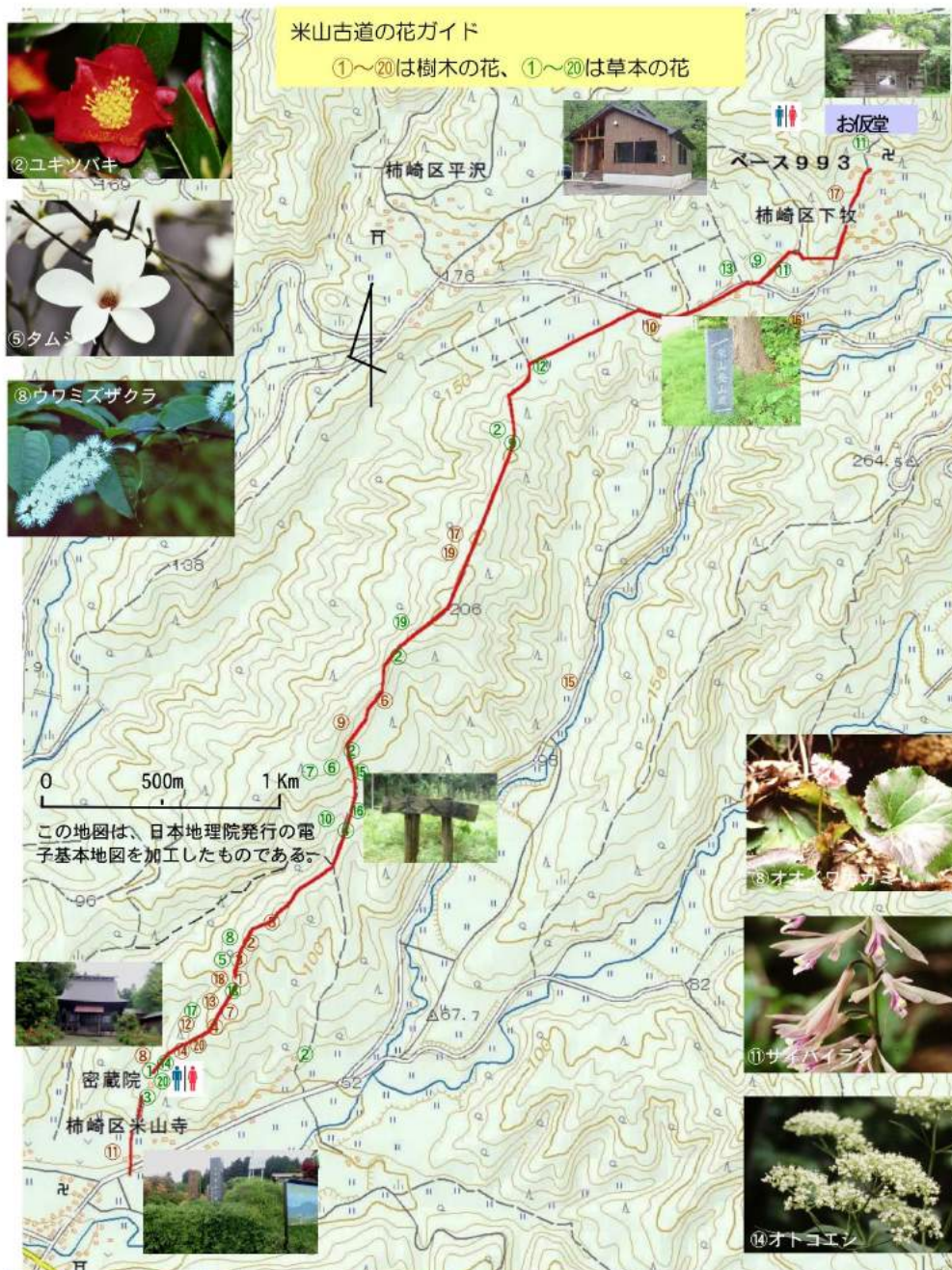
米山古道

樹木の花



米山古道の花ガイド

①～②⑩は樹木の花、①～②⑩は草本の花



米山古道

草本の花

